

# 探究Ⅰ 特別講義①

平成30年4月23日

## テーマ「なぜ探究することが重要なのか？」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

### 講義内容

- ①なぜ、「探究」という取り組みをするのか？
- ②探究する姿勢を持つためには、何を考えて、どう進めればいいのか？

### 実習内容

- ①身の回りを観察し、気になったこと、疑問に思ったことを書きだそう！
- ②関連図書を探そう！

### 生徒の感想

・普段、気にならないことも言われてみたら「はっ！」とすることがあり、「毎日を大切に過ごしているのだろうか？」と振り返る機会になりました。また、吉田先生が高校生とともに繰り広げられている探究学習は世界の目を引きつけるようなもので、とても興味をもち、私もそのような探究を深めたいと考えました。自分の未熟さや経験のなさ、知識のなさを実感し、周囲に目を向け、知識を深めていきたいと思いました。



# 探究Ⅰ 特別講義①

平成30年4月23日

## テーマ「なぜ探究することが重要なのか？」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

### 生徒の感想

・吉田先生の話すテンポや話し方からどんどん引き込まれていく感じあり、とてもおもしろかったです。先入観の話などは納得できるところがあり、チャンスを捨ててしまわないようこれからも様々なことに疑問を抱き、好奇心あふれる人になりたいです。

・世界ではたくさんの変化が起きていることを知り、変化に対応していけるようにアップデートをし続けることが大切だと分かりました。これからたくさんすることに興味を持ち、学び、自分も変化をしていきたいと思いました。

・「高校生だからできない」という事はないと分かりました。先生の話はとても面白く楽しくて、次の授業が楽しみです。「できないことはない」と信じて何事にも挑戦して、できない理由を探さずにできる方法を考えたい。

・自ら考える勇気を持つことが大切だとよく分かりました。探究学習を通して、深く考える力を身につけたいと思いました。



# 探究 I 特別講義②

平成30年5月14日実施

## テーマ「コーヒーから見える世界」

講師：マイスターコーヒー  
有限会社 西中 取締役 西中 豊先生

### 講義内容

- ①コーヒーに興味をもったきっかけ
- ②コーヒーの歴史など
- ③仕事内容の説明(輸入方法、焙煎方法など)
- ④仕事を通して見える世界(コーヒーの魅力など)
- ⑤その他(質疑応答など)

### 生徒の感想

・コーヒーに関する専門的な話があった時に、「やっぱりイメージにしばられているんだ」と改めて思いました。ある程度知っていたつもりだったし、調べ学習もしたけど、それでも知らなかったことやインターネットで間違っていた情報もありました。西中さんがコーヒーに興味をもったきっかけを聞いて、話の中で「後悔した」という言葉があり意外に思いました。一通り話を聞いていると、とても順調な人生を送っているように思ったけど違って、人生には苦労はつきものなんだと思いました。

今回の講義は、特に面白く有意義なものでした。

・先生の表情がすごく笑顔で本当にコーヒーが好きなんだと思った。コーヒーの輸出入も行っていると聞いてびっくりした。焙煎する前と後で匂いが違って、自分は焙煎する前が甘い匂いがして良かった。

コーヒーは苦く飲めないと思っていたけど、今日の話で少し飲んでみようと思った。話を聞いて良かった。楽しかった。



## テーマ「ユーグレナが未来をひらく」

講師：近畿大学農学部教授 重岡 成 先生

### 講義内容

- ①地球の温暖化
- ②人口増加と食糧問題
- ③ユーグレナとは？
- ④バイオ燃料の課題をユーグレナが解決？

など

### 生徒の感想

・地球の環境問題をわかりやすい数値やたとえで説明してくださって、今までの講義以上に自分の暮らしとつながって実感がわきました。また健康食品やおかしなど、既にユーグレナがたくさん社会で使われていることを知ってびっくりしました。講義の中では臭いがきついという風に言われていましたが、機会があれば食べてみたいです。

・今回の講義を聞くまでは、ミドリムシのことを全然知らなかったけれど、講義を聞いて、ミドリムシは環境に役立ったり燃料になったりすることを知った。また、「飲むユーグレナ」などの名前は聞いたことがあったけれど、59種類もの栄養素があるなんてとても驚いた。今までは、農学部は農業についてどのようにしたらいい植物ができるかを研究するというイメージだったが、今回の講義を聞いて、ミドリムシについて研究したりすることを知って、少し興味が湧きました。



・未来の地球を守り抜くために、たくさんの方が研究されていることに感動した。小さな微生物「ユーグレナ」が生み出すエネルギーはとても素晴らしいものであると感じました。自分たちが未来に残せるものは何か？と考えた時、研究などのようないきなりすごいことはできないけれど、自転車や徒歩で移動する、ムダな物を買わないなど、身近な所に目を向け行動したいと思いました。

# リーダー研修

平成30年7月9日実施

## テーマ「生きる力、生きる知恵としてのリーダーシップ」

講師：野外活動協会(OAA) 専務理事  
生涯学習コーディネーター 清水 勲夫先生

### 講義内容

- ①「リーダーシップ」とは
- ②「リーダー」に求められる資質とは
- ③「チームワーク」とは
- ④「生きていく力」とは

### 生徒の感想

・自分が今まで思っていた「リーダーシップ」とは全然ちがうものを「リーダーシップ」だと先生はおっしゃっていて、びっくりしました。初めは、「ん？なんか違う気がする」と思っていたけれど、話を聞いたりゲームをする中で、不思議と納得できました。これから、クラス内での自分の役割を考え直して、今回学んだリーダーシップを身につけていきたいです。

・今回の「リーダー研修」で、リーダーシップの本質が今まで考えていたことと違って、ただ人をまとめるだけでなく、問題解決に対してどう行動するかがリーダーシップだということがわかりました。「つらい過去があってもその過去を評価することで、その経験があったからこそ今の自分が強くなったと考えられ、人生は幸福になる」という言葉が一番心に残りました。この言葉以外にも今回学んだことをどんどん自分のものにしていきたいです。



# 探究Ⅰ 特別講義④

平成30年7月11日実施

## テーマ「プレゼンテーションⅠ」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

### 講義内容

- ・プレゼンテーションとは何か？
- ・プレゼンテーションで、最も重要なこと
- ・プレゼンテーションの3つのキーワード
- ・プレゼンテーションの本質を理解すれば、表現が変わる。

### 生徒の感想

・私は中学校の時、一度だけプレゼンテーションを経験したことがあります。その時は緊張して全然思ったように喋ることができませんでした。でも、今回の講義を聞いて、きっと準備不足だったんだと思いました。次のプレゼンでは、しっかりと準備して自分の満足できるものにしていきたいと思いました。

・ひとつ見方を変えると、プレゼンテーションはとても楽しいものだなと思いました。相手のことを考えたプレゼンテーションをするのは、とても難しいのですががんばってみようと思いました。

・先生のお話を通して、自分たちのやるべきことが見えてきたような気がして良かったです。私は、先生の話聞くまで、プレゼンテーションを誤解していました。だから、先生のお話を今日聞くことができ、プレゼンテーションについて正しく認識することができたと思います。



## 探究Ⅰ 特別講義④

平成30年7月11日実施

### テーマ「プレゼンテーションⅠ」

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

#### 講義内容

- ・プレゼンテーションとは何か？
- ・プレゼンテーションで、最も重要なこと
- ・プレゼンテーションの3つのキーワード
- ・プレゼンテーションの本質を理解すれば、表現が変わる。

#### 生徒の感想

・発表することだけがプレゼンテーションではなく、相手をどのような気持ちにさせたいということが大事だということが分かりました。プレゼンテーションは準備が大切になるので、情報収集はどのようにするかや何をしらべるかなどをしっかりと調べてプレゼンテーションができるようにしなければいけないと思いました。今回の講義を聞いて、プレゼンテーションがしやすくなりました。

・私は人に伝えることや前で発表することはずっと苦手でした。今日の講義を聞いて、私は上手に発表することを意識していたからだということを知りました。自分のことばかり考えて、相手のことを考えていなかったのだと思います。これからは、相手のことをしっかりと考え、本当にプレゼントをするようにしたいです。



## テーマ「古代チベット史研究へのアプローチ」

講師：神戸市外国語大学 客員研究員

非常勤講師 西田 愛先生

### 講義内容

- ①研究(の段階)について
- ②フィールドワークの心得
- ③古代チベット史研究へのアプローチ

### 生徒の感想

・全く知らないことを調べることは難しく、資料が最も重要な研究材料になるということを知りました。私はチベットについて全く知識がありませんでしたが、食や仏教などの文化について少しは知ることができました。まだまだ知らない国や文化があるので、いろいろと調べるのも良い経験になると思いました。

・ご自身の体験をふまえてのお話は、とても勉強になった。実体験からお話いただいたので、とてもわかりやすく、私たちがこれからするフィールドワークにつながるものが多かったと思う。今日の講演を踏まえて、自分たちの活動も考えていきたいと思う。

・今回の講義で、フィールドワークをするのに事前にたくさん準備をしておかないといけないなと思いました。また、インタビューをするにあたって、コミュニケーションをはかりながらすることで、他の人から良い答えがもらえたり、それ以外のことも教えてもらえることを知りました。これからどういう風に質問すればよいか考えていきたいと思います。





## クラス中間発表①

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

### 4班 動物の輸血の現状



### 3班 音、色、リズムで相手に勝つ方法



### 8班 兄弟姉妹(一人っ子も含めて)の性格特性



### 2班 SNSの注意喚起～心理状態について～



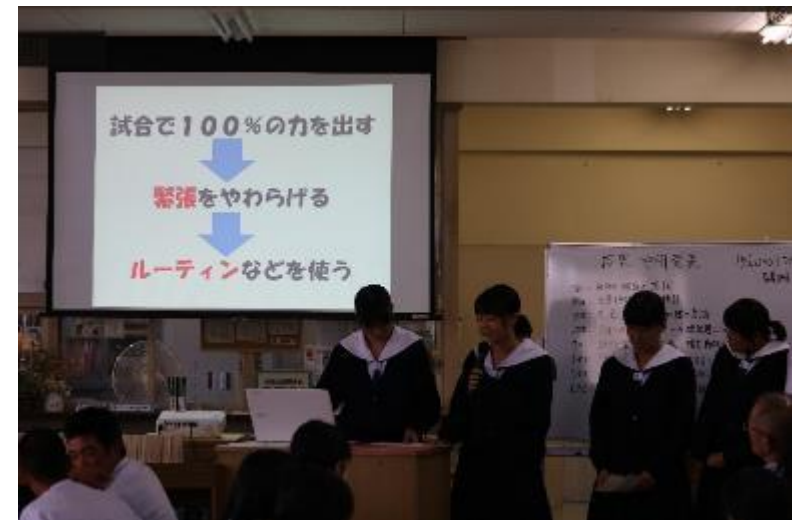
# クラス中間発表②

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

7班 日本と違う自然環境に棲む動物はなぜ日本で生きれるのか？



5班 試合で100%の力を発揮するために



1班 「ぎゅっとめし」を加古川名物にするには



6班 食育～スポーツをする上で丈夫な体をつくるには～



## クラス中間発表③

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

各班に吉田先生から丁寧なアドバイス

発表時間 各班5分 , 助言 3分  
評価シートを用いて、相互評価を実施



(感想)

- ・発表の後、吉田先生のアドバイスを聞いて、これからどのようなことを取り組んでいけばよいのかがわかった。最終的にどこを掘り下げていけば良いのかを考えて取り組もうと思った。改善していけるように知識を深めたい。
- ・他の発表を見て、データや写真を多くスライドの取り入れていたり、問いかけをしたりととても参考になることが多かった。今回の中間発表を活かしてより良い発表ができるようにしたい。

(感想)

・中間発表を終えて、他の班の発表を見ながら自分たちの班に足りないものよく分かった。例えば、ソフトボール以外のスポーツごとの食育についてなどが足りていないことが分かった。

今後の探究はもっと具体化して、プレゼンした後には聞いている人をどう行動させたいかを大切に取組んでいこうと思う。



# 探究Ⅰ 特別講義⑥

平成30年12月14日実施

## テーマ「和歌の家・冷泉家800年」

講師：冷泉家時雨亭文庫理事長 冷泉為人先生

### 講義内容

- ・「考える」ということが大切
- ・日本人としてどう生きていくべきか
- ・和歌の家・京都冷泉家。冷泉家の歴史と文化



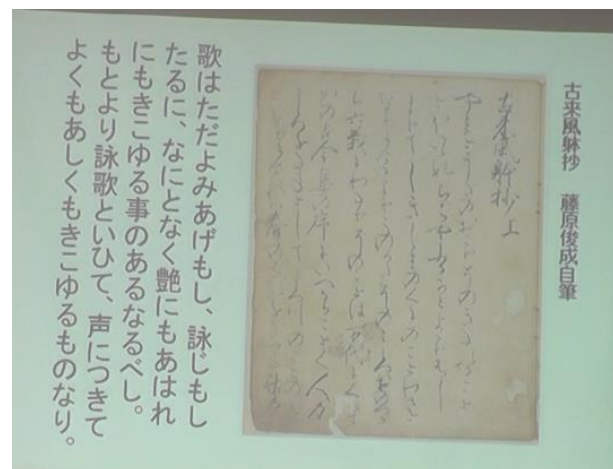
### 生徒の感想

・とても分かりやすい例やipadを使った講義はとてもためになったし、面白かった。「型」というのはとても大切で、実際、冷泉家がここまで続いてきた話、「道」とつくもの、華道、茶道、剣道などの話も良かった。

・「考えるとは自分が身をもって相手と交わる対象と一体になる」と聞き、その通りだと感じました。このように様々なものを考えたり、考えられることを聞いたりするとおもしろく、他にも知りたいと思いました。冷泉家についてもさらに調べてみたい。

・現代はAIやロボットなどの人工知能によって人間が考えることが少なくなっているかもしれません。しかし、今日の講義の中の「変わるもの」は「無常なもの」。時代は変わるから人間は変わらざるを得ないということはまさにその通りだと思いました。

だから、ロボット一台にしてもどのように活用するのかを考えることが大事だと思いました。何も変わらないからここだけ良かったらそれで良いと思わず、これからはしっかり考えて自分の意見を主張していきたい。主張する時は利他也考えて。



# クラス発表会①

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

4班 動物の輸血の現状



1班 「ギュッとメシ」を加古川のご当地グルメにするには



6班 食育～スポーツをする上で丈夫な体をつくるには～



2班 私たちとSNS



# クラス発表会②

講師：京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

5班 試合で100%の力を出すためには？



7班 日本と自然環境が全く違う動物は、なぜ日本に棲めるのか？



8班 兄弟姉妹(一人っ子も含めて)の構成によるトリセツ



3班 色や音楽がどのような影響を与えるのか？



# 探究 I

平成31年2月4日実施

## クラス発表会③

講師: 京都造形芸術大学 事務局長 吉田 大作先生

発表時間 各班 約8分 , 助言 約3分  
評価シートを用いて、相互評価を実施

各班への適切なアドバイスと「探究」の可能性  
をお話していただきました。

(生徒の感想)

・テーマを決める時からいろいろ迷ったりして、1つの発表を完成させるためにはたくさんの準備が必要だと感じました。クラス発表は、最後のまとめとして良いものができたと思います。他の班もフィールドワークの結果をふまえて、そこからパワーアップした発表をされていてとても勉強になりました。2年生はもっとわかりやすくプレゼンテーションをしていけるようにしたい。

・クラス発表を終えて、1年間でフィールドワークに行ったり、インターネットで調べてきて大変だったけどとてもやりがいがあった。1年間探究を続けてきて、まだまだこのテーマについて深く調べることができると思った。このように“探究”というのは深く掘れば掘るほどより多くの情報を得ることができると思う。



## 学年発表会

「自然と人間探究類型」の代表班が発表しました

6班 食育～スポーツをする上で丈夫な体をつくるには～



「探究 I」「リーダー研修」を終えて  
(生徒の感想・意見)

・特色入試を受験したときは「探究」がこんなに深いものだとは思っていませんでした。「探究」の意味やプレゼンテーションについて詳しく教えてもらい、自分の想像していたものよりはるかに深かったです。1年間を通して探究しましたが、とてもあっという間に過ぎてまだまだ時間が足りないくらいです。テーマを決めてから発表までのどの過程もとても楽しく班で協力しながらとてもいいものにすることができました。中間発表でも最後のクラス発表でも代表に選ばれることができとても嬉しかったです。特別講義ではなかなか聞くことがない貴重なお話をたくさん聞くことができはじめて知ることばかりでした。自分の中の知識も少しは増えたと思います。様々なことを教えてもらって自分の中でも考える機会が増えていい取り組みになったと思います。リーダー研修でも今までの自分の考えが覆されて、本当のリーダーシップを教えてもらい本当に勉強になりました。この経験もこの機会があったからこそで、この「自然と人間探究類型」を受験して本当に良かったと1年を振り返って改めて思いました。